

(5)関係者への期待

《商店街振興組合等》

- 商店街が地域にとって必要な存在となるためには、その立地環境、地域住民のニーズ、地域資源などを踏まえ、商店街として目指すべき姿・目標やそれを実現するための具体的な取組を十分に検討することが必要です。
- そして、取組を実施するに当たっては、その進捗状況や成果を適時に検証し、必要に応じて方向性・内容を修正するという作業を繰り返し行うことが重要です。
- 商店街活性化に向けた取組を推進するに当たっては、個店をまとめるまちづくりマネージャー的な役割を担うリーダーが必要です。そのリーダーには、市町村や地域の多様な主体との連携を主導し、それぞれが持つ人的資源やノウハウを有効に活用するように努めることが期待されます。
- 商店街の取組が継続的なものとなるためには、次代の商店街を担う若手の人材を育成するとともに、自立的な運営体制を整えることが重要です。

《個店》

- 商店街は個店の集積であり、商店街が活性化するためには、個店そのものに魅力がなければなりません。個店の経営者には、各個店の魅力が商店街の活性化につながるという認識を持ち、「逸品の開発」や「サービス向上」などに努めることが求められます。
- 空き店舗の増加は、商店街の魅力低下につながります。空き店舗については、その商店街に不足する業種の誘致を図るほか、子育て支援施設やコミュニティスペースといった住民ニーズに対応する施設として活用することも重要です。
- 各個店には、商店街活動に積極的に参加し、魅力ある商店街づくりに向け、互いに協力することが期待されます。

《地域住民》

- 地域住民は、商店街にとって最大の顧客です。地域の社会基盤である商店街の活性化を通じ、魅力あるまちづくりを進めるため、地域住民には、まちづくりの主体として、商店街と協働し、その活性化に取り組むことが期待されます。

《市町村》

- 市町村は、まちづくりや中心市街地の活性化において、中核的な役割を担っています。多様化する住民のニーズに対応するため、商店街の「地域コミュニティの担い手」としての活動について、行政を補完する公益的な活動として位置づけ、きめ細かく支援していくことが必要です。
- 市町村の職員には、商店街がNPO、観光関係団体、学校等の多様な主体と連携を図る際、コーディネーターとして、情報提供や調整を行うことも期待されます。このため、市町村において、まちづくりに対する熱意や知識を持つ職員の育成、市町村間のネットワークづくりに取り組むことが重要です。

《各支援機関》

- 愛知県商店街振興組合連合会、商工会・商工会議所などは、商店街を支える重要な支援組織として、商店街に対し、イベントの企画を通じたにぎわいの創出や個店の経営指導などの支援を実施してきました。
- 商店街が担う役割が多様化する中、これらの支援機関には、専門家の派遣を通じた空き店舗対策、NPO、観光関係団体等の様々な団体・組織とのマッチングを始め、一層きめ細かい支援を行うことが期待されます。

《大規模小売店舗等》

- 大規模小売店舗等は集客機能が高く、地域のまちづくりへの影響が大きいため、「まちづくり三法」や「愛知県商業・まちづくりガイドライン」により、適正立地や周辺環境への配慮、地域貢献など、地域との共生を図ることが求められています。
- 大規模小売店舗等が行う地域貢献としては、これまで、地域経済団体への加入のほか、宅配サービス、エコステーション、商店街と連携したカード事業などの取組が行われており、今後とも、商店街や地域との共生に向け、更なる主体的かつ広範な取組が期待されます。

《その他》

- 商店街では、NPOと連携した子育て支援施設や高校生や大学生による就業体験やチャレンジショップの運営、地元の観光関係団体や農協等と協力し「名産・名食・名所づくり」など、様々な地域の団体・組織と連携した取組が行われています。
- 地域の多様な団体・組織には、社会インフラである商店街とともに、魅力あるまちづくりに積極的に協力していくことが期待されます。

5. 参考資料

(1)「活性化モデル商店街」指定事例

【名古屋市】

| | |
|---|--|
| <p>○仲田本通商店街振興組合（千種区）</p> <p>地下鉄今池駅・池下駅からほど近く、周辺人口が増加している地区にある商店街。</p> <p>商店街オリジナル商品の開発や一店逸品運動に取り組み、メールマガジンやマップ、イーゼル（自立式広告看板）により、個店や商店街の魅力について情報発信を行うとともに、四季の草花を植栽し、快適な環境づくりに取り組んでいる。</p> |  <p>(自立式広告看板イーゼル)</p> |
| <p>○桜山商店街振興組合（昭和区）</p> <p>地下鉄桜山駅周辺で、高校や大学、病院、福祉施設が立地する文教・住宅地区にある商店街。</p> <p>大学や障害者団体と連携して、ギャラリーの整備や物販など空き店舗の活用や、商店街オリジナル商品の開発を通じた商店街のブランドづくり等に取り組んでいる。</p> |  <p>(さくらやまーけっと)</p> |
| <p>○八事商店街振興組合（昭和区）</p> <p>地下鉄や幹線道路が交差する交通の要所で、文教地区にある多様な顧客を集客できる商店街。</p> <p>市民団体・大学・行政と連携し、「環境とエコ、森と自然」をテーマにしたイベントを開催している。また、伝統野菜「八事五寸にんじん」等の地域の隠れた特産品を活用した地域ブランドの開発を行うとともに、携帯電話やホームページを活用して、地域や個店の魅力について情報発信を行っている。</p> |  <p>(八事の森の春祭り)</p> |
| <p>○日比野商店街振興組合（熱田区）</p> <p>熱田神宮などの観光資源、産業関連施設や卸売市場、大学、国際会議場等の施設が近くに立地する商店街。</p> <p>買物スタンプラリー付き商店街情報誌の発行、逸品グルメの開発や、NPO・大学等と連携した「職業体験プロジェクト」、「産業観光ツアー」の開催などを通じてコミュニティ作りを行っている。また、学生・地域住民と商店街周辺の清掃活動等を実施している。</p> |  <p>(産業観光ツアー)</p> |
| <p>○築地口商店街振興組合（港区）</p> <p>名古屋港の玄関口に位置し、観光施設である名古屋港水族館が近くに立地する商店街。</p> <p>空き店舗を活用したパソコン教室、パン作りなどの「マイスター教室」を開催するとともに、継続的に逸品を開発し、チラシ、HP、イベント等でPRしている。また、築地口神社の縁日に合わせて定期市を開催している。</p> |  <p>(マイスター教室)</p> |

【瀬戸市】

○瀬戸市内商店街

瀬戸市内の広域にまたがる9つの商店街。

市役所、商工会議所がコーディネーターとなり、各商店街が果たすべき経済的・社会的機能の強化をキーワードに、各エリアの特性に応じた取組を実施している。

中心市街地エリアでは、にぎわい創出のため、歩道での「あかりアート作品」の展示や観光文化施設での映画上映会の開催、空き店舗を活用した起業支援等を実施している。また、周辺エリアでは、商店街の空き店舗を活用したコミュニティビジネスの展開や、地域住民と一緒にイベントなどに取り組んでいる。



(陶のあかり路)

【豊川市】

○豊川地区商店街

豊川稲荷の門前地区にある7つの商店街。

まちづくりイベント「いなり楽市」の開催や、「いなり寿司」による地域おこし（B級グルメ）に取り組んでいる。また、空き店舗を活用したまちづくり拠点「いっぷく亭」において、福祉団体と連携したオリジナル商品の開発・販売や、大学と連携し商店街に統一した外観を整備する「ファサード事業」を実施している。



(いなり楽市)

○諏訪地区商店街

市役所など公共施設の近隣にある2つの商店街。

誰もが安全に歩けるよう、商店街や公共施設等の歩道のバリアフリー化を行うとともに、間伐材を利用したプランターを設置している。また、商店街を身近に感じてもらうために、「まちなか星空観望会」などのイベントを定期的で開催している。



(まちなか星空観望会)

【刈谷市】

○刈谷市刈谷駅前商店街振興組合（刈谷市）

JRや名鉄の駅がある市の玄関口で、通勤客等が多く通る商店街。

商店街だけでなく、地域住民や学生とともに、イルミネーションなどの景観向上、空き店舗の活用、飲食店マップの作成、「ほろ酔いカリアンナイト事業（ドリンク1杯とお店自慢の1品を5店舗で飲食できる事業）」などを実施している。



(カリアンナイト事業)

【豊田市】

○ひまわり通り商店街振興組合

桜城（挙母城）から飯田へ続く「塩の道」の街道筋として栄えた地域に位置し、創業50年以上の老舗や専門店が多い商店街。

老舗商店街ならではの取組として、店内の空きスペース等において、地域のコレクターが保有する商品や伝統の技、昔の道具、家財等を展示して、来街者が見学・体験できる場（まちかど博物館）を提供している。また、環境に配慮したLED仕様の街路灯に建て替えるとともに、地元と協力して安全パトロールを実施している。



（まちかど博物館）

○一番街商店街振興組合

日用雑貨等の生活用品を買い求めることができる古くからの店舗がある商店街。

魅力発信や集客力の向上を図るため、定期市（1の日祭）を開催するとともに、お店紹介冊子や木彫りモニュメント（置き看板）を設置している。また、環境に配慮したLED仕様の街路灯に建て替えるとともに、街路灯フラッグを設置している。



（木彫りモニュメント）

○永覚新町商店街振興組合

社宅団地形成に伴い形成された商店街。

近隣住民を商店街に呼び戻すため、オリジナルな逸品商品づくりを行っている。また、逸品商品マップやPRのぼりを作成するとともに、逸品商品のPRを兼ねた、手づくりのクラフトやアート作品の展示・実演・販売を行う「にぎやか市」や「ふれあい夏祭り」、逸品商品スタンプラリーを行う「歳末感謝まつり」といったイベントを開催している。



（にぎやか市、逸品フェア）

○桜町本通り商店街振興組合

挙母神社の参道に位置する商店街。

挙母神社境内で毎月8日に開催される「八日市」に連動して、商店街内でも、地産地消にこだわった朝市やイベントを開催している。また、快適な買い物空間となるよう、フラワーポットやベンチを設置している。さらに、当商店街を含む中心市街地で開催される「ふれあいフェスタ」に合わせて、親子で楽しめるイベントを実施するとともに、商店街を地元小学生の体験学習の場として提供している。



（ふれあい市場）

【豊田市(つづき)】

○大沼商店街

下山地区に位置し、三河湖等の観光地や弘法、雅楽などの地域資源を有する地区にある商店街。

観光地等の地域資源を活用し、まち全体を博物館（エコミュージアム）化するため、情報発信拠点（こぼっち大沼）や案内看板、遊歩道を整備した。また、商店街への集客を促すため、商店街マップを作成するとともに、毎月朝市を実施している。



(こぼっち大沼)

○足助中央商店街協同組合

宿場町として栄えた三河山間地区にある商店街。過疎化と高齢化が進み空き店舗が増加する一方で、香嵐溪や古い町並みなどを活用した観光客を呼び込むイベント「たんころりん」や「万灯まつり」、市（中馬なごやか市）などを開催するとともに、商店街マップやホームページによる情報発信を行っている。



(たんころりん)

【安城市】

○安城中央商店街連盟(安城駅周辺の6商店街)

商店街を始め多種多様な団体が参加する一大イベントである「サンクスフェスティバル」を開催している。また、商店主が講師となり講座を開く「まちの教室」の実施や情報発信誌「A k i n d」の発行により、商店街の魅力について情報発信を行っている。



(まちの教室)

【蒲郡市】

○蒲郡商店街振興組合

J R 蒲郡駅北側に位置し、中心市街地の一角をなしている商店街。

商店街の認知度を高めるため、毎年参加者（イベントやボランティア）を増やししながら、「福寿稲荷ごりやく市」を開催している。また、日常的な集客力アップのため、手作り感のある商店街マップを作成している。さらに、空き店舗を活用して、シャッターペイント、人形劇や紙芝居等のイベント、クラフト作品の展示・販売、竹細工体験教室などを実施している。



(福寿稲荷ごりやく市)

(2) 策定委員会

《策定の経緯》

- 平成22年7月5日 ・第1回 策定委員会
- 平成22年10月21日 ・「にっぽん商店街シンポジウム」の開催及び
～同年10月23日 参加者へアンケートの実施
- 平成22年11月8日 ・第2回 策定委員会
- 平成23年1月6日 ・パブリックコメントの実施
～ 同年2月4日

《策定委員会委員》

| 氏名 | 団体名等 | 役職等 |
|--------|---------------------------|--------|
| 石川 謙 | 愛知県中小企業団体中央会 | 専務理事 |
| 井上 雅 | 社団法人愛知県観光協会 | 専務理事 |
| 内田 吉彦 | 名古屋商工会議所産業振興部 | 部長 |
| 大貝 彰 | 国立大学法人豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 | 教授 |
| 大河原 誠 | 岡崎信用金庫 | 副理事長 |
| 大関 正道 | 中部経済産業局産業部 | 部長 |
| 大野 憲博 | 愛知県商店街振興組合連合会 | 専務理事 |
| 加藤 健二 | 商業アドバイザー | |
| 木村 聡 | 愛知県 | 産業労働部長 |
| 久野 美奈子 | NPO法人起業支援ネット | 代表理事 |
| ◎古池 嘉和 | 名古屋学院大学経済学部 | 教授 |
| 吉川 勉 | 財団法人あいち産業振興機構 | 常務理事 |
| 米田 里司 | 愛知県商工会連合会 | 専務理事 |

(13名、敬称略、五十音順、団体名等・役職等は委員委嘱時、◎は委員長)

問い合わせ先

愛知県産業労働部商業流通課 商業指導グループ

電 話 (052) 954-6336
ファクシミリ (052) 954-6925
E-mail shogyo@pref.aichi.lg.jp